

講義題目/Subtitle	社会と健康I / Society and Health I Code:41918220	
授業の目標、概要 /Course Objectives/Overview	健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health: SDH）へアプローチする公衆衛生活動が世界的な潮流となりつつある。本コースではSDHにアプローチする公衆衛生対策・健康格差対策を実践していくための基礎となる理論とエビデンスについて学ぶ。社会疫学の基本的な考え方からスタートし、様々な分野の最前線で研究を行う講師からオムニバス形式で講義を行う。SDHに関連する実証研究を進めるために必要な因果推論技法の基礎も扱う。社会環境は多様で複雑なため、多様な学生の参加や、各々の視点を生かした議論が不可欠であるため、積極的に参加してほしい。	
授業のキーワード/Keywords	和	健康の社会的決定要因（SDH） 健康格差 教育・経済状況（貧困や所得格差） 社会的孤立 差別 住環境 就労環境 社会的ネットワーク ソーシャルキャピタル 社会疫学
	英	Social determinants of health, health inequality, poverty, socioeconomic status, social isolation, discrimination, built environment, work place, social relationship, social capital, social epidemiology
授業計画/Schedule	<p>9/26 1) 1限 社会疫学概論（近藤）</p> <p>9/26 2) 2限 社会と健康をつなぐ疾病論の歴史的考察（橋本）</p> <p>10/ 3 3) 1限 社会経済状況（近藤）【レポート課題あり】</p> <p>10/ 3 4) 2限 マクロな社会環境：景気動向・所得格差（近藤）【レポート課題あり】</p> <p>10/10 5) 1限 社会関係（近藤）</p> <p>10/10 6) 2限 ソーシャル・キャピタル（近藤）【レポート課題あり】</p> <p>10/17 7) 1限 職業性ストレス・差別（川上）</p> <p>10/17 8) 2限 胎児期からの社会環境：ライフコース疫学（藤原）</p> <p>10/31 9) 1限 健康の平等と倫理（TBA）</p> <p>10/31 10) 2限 ジェンダーの健康影響（本庄）</p> <p>11/14 11) 1限 社会疫学の因果推論技法（近藤）【レポート課題あり】</p> <p>11/14 12) 2限 健康格差の制御方法（近藤）</p> <p>講師の都合により日時変更の可能性あり。</p>	
授業の方法/Teaching Methods	事前配布資料・講義とクラスディスカッション・レポート課題からなる。各講義に関連する指定テキストの該当章、および事前配付資料はその概要を把握していることを前提として講義を進める（初日の2回分の講義以外）。	
成績評価方法/Grade Evaluation	<p>出席および授業中のディスカッション 40% レポート 60%</p> <p>クラス内でのディスカッションは授業の大切な要素である。出席および授業中の発言回数やその内容を評価対象とする。</p> <p>レポートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> * A4一枚程度とし、最大2枚まで。 * 提出先：医学部3号館3階 S310：近藤研究室 あるいはメールで後述の問い合わせ窓口まで * 締切：各講義日の1週間後の正午 * 課題名・氏名・学籍番号・提出日を明記すること * 事実関係やデータ、フレーズ等引用した場合、必ず引用データの出所を示すこと。引用下資料のリストは最後に記載すること。インターネットからの長文のコピー＆ペーストは禁止（図表やデータについては、引用元を明記した上で可）。 * 根拠と証拠を伴わない主張をしたものは減点。ユニークなアイデアや意見は加点。 	
教科書/Textbook	川上憲人・橋本英樹・近藤尚己（編著）「社会と健康：健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ」東大出版会	
参考書/Reference	<p>1. 近藤尚己（著）「健康格差対策の進め方：効果をもたらす5つの視点」医学書院 健康格差対策の基礎から実践まで、5つの視点からまとめたテキスト。</p> <p>2. Berkman, Kawachi, Glymour. Social epidemiology 2nd edition: 邦訳：社会疫学（上・下） 社会疫学についてさらに包括的に学びたい人へ向けた、発展的なテキスト。</p>	